

# 民主島根

2023年  
**2.26**  
第1422号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 原発ゼロ、大軍拡・大增税ストップ 平和でも暮らしでも希望もてる県政を

松江・出雲 **むこせ** 県知事 候補、尾村・大国 県議、大平 衆議院議員 訴え



訴える大平氏と(左へ)尾村、むこせ、大国の各氏 (松江市)



決意表明する、むこせ県知事予定候補 (出雲市)

日本共産党の大平喜信元衆議院議員は18日、島根県知事選(3月23日告示、4月9日投票)に挑む、むこせ慎一予定候補(52)と新二と県議選(3月31日告示、同日投票)をたたかう尾村としなり予定候補(60)と現二の合同事務所並びに駆けつけました。約50人が参加しました。大平氏は、岸田政権がすすめる大軍拡について「国会でも、国民にも一切説明する姿勢がない。日本共産党の大躍進で岸田政権ノーを示そう」と呼びかけました。

むこせ氏は、丸山知事が原子力規制委員会の全ての審査が終わってもいないのに、島根原発2号機の再稼働同意を表明したことを厳しく批判し、「2号機の再稼働同意は撤回の

し、原発のない島根をつくる」と決意表明しました。尾村氏は「オール与党・県議会の中で、県民の立場でスジを通すのは日本共産党だけです。県民の命綱として引き続き働かせてほしい」と訴えました。

大平、むこせ両氏は約40人が参加した出雲市内の決起集会でも訴えました。大国陽介県議予定候補は「強く大きな党をつくって統一地方選に勝ち、解散・総選挙に追い込み、比例中国ブロックの議席を取り戻そう」と訴えました。

大平、むこせ両氏は約40人が参加した出雲市内の決起集会でも訴えました。大国陽介県議予定候補は「強く大きな党をつくって統一地方選に勝ち、解散・総選挙に追い込み、比例中国ブロックの議席を取り戻そう」と訴えました。

### 県知事・県議選 県政政策を発表

### 島根から原発ゼロへ

### 大平氏が党県議団らと宣伝

## 日本共産党演説会

3月5日(日)

10:00~11:30 松江テルサホール(松江市)

14:00~15:30 大社文化プレイスうらら館 だんだんホール(出雲市)

弁士

山添拓 参院議員 弁士

むこせ慎一 党西部地区委員長

尾村としなり 県議会議員

大国陽介 県議会議員

【松江会場】

【出雲会場】



大平喜信元衆議院議員が県議選での尾村としなり、大国陽介の両県議の現有2議席必勝をめざし、松江、出雲両市で訴えました。

**鼓動** 新型コロナウイルスの影響で減収となり、困窮した世帯に、国が特例として無利子で生活資金を貸す「緊急小口資金」と「総合支援資金」の「特例貸し付け」の返済が先月から順次、始まっている。貸し付けによって生活が救われた一方で、最近の物価高騰もあり、返済ができないという声が多数上がっている▼厚労省によると、コロナ禍による特例貸し付けは2020年3月〜22年9月末までに約379万件、計約1兆4200億円に達した。リーマン・ショックで景気低迷に陥った09年〜11年度の貸付総額は706億円余り。その20倍となり、コロナ禍がもたらした影響の大きさと深刻さを改めて浮き彫りにした形だ▼昨年10月末時点で、免除申請は79万件と3割超を占めているが、住民税非課税世帯などが対象。特に大きな影響を受けたひとり親や非正規で働く人、フリーランスにはかなり厳しい線引きとなっており、自己破産や債務整理の手続きをしているケースも生まれている▼生活福祉資金貸付制度は、1955年に世帯更生資金貸付制度という名称で発足。資金の貸し付けと必要な援助を行うことで自立を促し、より安定した暮らしが可能となるよう関与していくことをめざし、一般金融機関の貸し付けとは異なり、営利を目的としない。厳しく督促したり、借金を苦にした自殺や無理な労働、精神疾患に追いやりたりしてはならない▼日弁連は会長声明で「困窮者にとつては、長期にわたる返済自体が生計破綻の引き金になる危険が高い」とし「免除の範囲を抜本的に拡大すべきだ」と政府に対応を求めている。(遠)